

## 第7回 みんなの人権セミナー のご案内



「ひまわりの咲く町」を歌う劇団すだち  
のみなさん



自分たちの思いを力強くうたえます

「なあ幸治、差別はいけないってことは誰でもわかっていると思うんだ。それに、みんなが自分に勇気があつたらって言うよな。でもなあ、よく考えたらそれは勇気とかじやないんだ・・・。(劇中のセリフより)

とき 2月17日(土) 19時30分～21時  
ところ 生活想像館(大山町赤坂)

☎ 0858-49-3310

内容 「劇団すだち」による人権劇  
「手紙」の上演とお話し

今年度最後の人権セミナー  
は、「劇団すだち」による人  
権劇「手紙」の上演とお話し  
をしていただきます。

この人権劇は、結婚差別の  
実話をもとにした歌「手紙」  
と「帰らざる日々」をもとに  
して、劇団員自らが台本に書  
き下ろしたものです。

劇の上演の後には、「劇  
団すだち」を立ち上げた思い  
や、人権劇に取り組む思いな  
どをお話していただきます。

「劇団すだち」からのメッセージ  
みなさん こんにちは。  
劇団すだちは、中山中学校PTAで  
出会い、活動をしてきました。そ  
れぞれの仕事や立場の中、楽しく活動  
しています。

今、いじめや差別が原因で自らの命  
を絶つたり、人の命を奪つたりと悲し  
い事件が後をたちません。

「差別をしない」というのは人として  
当たり前のことです。しかし、今も  
その当たり前のことことができず、苦しみ、  
悩み、悲しんでいる仲間がいます。

差別をうけたとき、差別に出会った  
ときどんな行動をとつたらいいのか。  
みなさんとともに考え、学び、行動へ  
とつなげていくことが、差別をなくす  
大きな力になると思います。そんな願  
いを込めて、部落差別をテーマにした  
2つの曲「手紙」と「帰らざる日々」  
を題材にして、人権劇「手紙」をつく

さい。  
2、3月に各地区同和教育  
推進協議会が、人権講演会  
などを開きます。詳しくは18  
ページのお知らせをご覧ください。

りました。

# 差別をうけたとき、差別にであつたとき あなたはどんな行動をとりますか?